



令和3年度 校長だより

令和4年1月11日(火)

大野の風

No. 13

文責 松下 義彦

3学期のスタートにあたり

みなさん、おはようございます。そして、あけましておめでとうございます。

みなさんは、年末年始をどのように過ごしましたか。3年生のみなさんは、受験という大きな目標に向かって勉強を頑張ったと思います。

2年生や1年生のみなさんは、年末年始のゆっくりとした時間はあったでしょうが、初詣に出かけたり、里帰りしたりと忙しい冬休みだったのではないのでしょうか。中には、コロナ禍の中、家でじっとしていたという人も多いかと思います。

さて、「一年の計は元旦にあり」といいますが、みなさんは、今年の目標を何か立てたのでしょうか？ また、3学期の計は、始業式にあり。これからどのクラスも3学期の目標を立てると思いますが、今の意気込みを大切に、毎日を過ごしてください。

さて、新学期を迎えるにあたって、少し話をさせてもらいます。みなさんは次のような言葉を聞いたことがありますか。

「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る。」というものです。

その人の発する言葉をよく聞けば、その人の態度はすぐにわかるものです。

この言葉の意味は、「もし、その人が希望を語っているのなら『前向きに努力している人』であり、逆に、不満ばかり語っているのなら、その人は『自分は怠けている』と言っているようなものだ。」ということです。

なぜなら、本気で努力していれば、自然と希望を口にするものだし、怠けてばかりいれば、おのずと口からは不満ばかり出てくるものだからです。よく考えてみてください……不満ばかり言いながら努力を続けることなどできるでしょうか？

私たちはついつい現状の不満ばかりに目を向けて、努力をするのを忘れる傾向があります。「希望」と「不満」、どちらに目を向けるかが大事であり、それによって怠けようとする自分に打ち勝てるかどうかが決まるのです。

私たちにはつい楽な方へ流されてしまう性質があります。そうならないために、我々は意識的に希望に目を向けていく「努力」が必要なのです。

折に触れこの言葉を思い出し、今の自分はどちらを口にしているのか、自分自身に問いかけてみてください。そしてもちろん希望を語る人でありたいと願います。

みなさん、新しい年を迎え、新学期が始まる今日の日を機に、今年は、希望を語る1年にして行ってみてはどうでしょうか。

話は変わりますが、3学期は、3年生は進路や受験があり、1・2年生は、学習での試験や部活動の大会などがあります。まずは自分の目標をしっかり立てて欲しいと思います。

そして、目標を達成するために「ああして、こうして、この方向に進んで……」などと考えたり紙に書いたり、部活動のチームであればお互いで話して、目標をよりイメージすることも良いでしょう。みなさんも目標達成のイメージを持ち、そこにたどり着く計画を立ててください。

最後に、3年生は、あと39日間しか中学校には登校しません。大切な39日間にしてください。

1・2年生は、今の伝統ある大野中学校をさらに発展させるよう努力して欲しいと思います。常に諦めずに前向きにチャレンジする生徒たちであって欲しいと願っています。

